

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E111B020		教育課程・方法論(The Process of Education and Methodology)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	2	教育学部			氏名 伊藤安浩、市原靖士 E-mail yasuihiro-ito@oita-u.ac.jp, ichihara-yasushi@oita-u.ac.jp 内線 7636,7587										
授業の概要	教育課程の意義と編成の方法, カリキュラム・マネジメントの考え方について理解する。また, 情報機器及び教材の活用を含む, 教育の方法と技術の基本を理解し, 基礎的な知識と技術を身に付ける。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	各学校が編成する教育課程と学習指導要領・教育要領の関係, 要領の改訂の経緯とその社会的背景について理解し, 説明できる。															
目標2	教育課程の編成の方法を, 教育課程のいくつかの類型を具体例として理解し, 説明できる。															
目標3	授業・保育を構成する基本的要件を理解し, 学習指導案の作成や授業・保育の実践のための基礎的な知識と技術を説明できる。															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	教育課程の意義とその編成(担当:伊藤安浩)															
2	教育課程と学習指導要領・教育要領の関係(担当:伊藤安浩)															
3	学習指導要領・教育要領の改訂の経緯とその社会的背景(担当:伊藤安浩)															
4	教育課程の枠組みと各教科等・領域の目標(担当:伊藤安浩)															
5	学級担任制または教科担任制とカリキュラム・マネジメント(担当:伊藤安浩)															
6	教材中心教育課程(教科カリキュラム), 学問中心教育課程(担当:伊藤安浩)															
7	学習者中心教育課程(経験カリキュラム), 社会中心教育課程(担当:伊藤安浩)															
8	授業・保育を構成する基本的要件(担当:伊藤安浩)															
9	系統学習, プログラム学習, 完全習得学習(担当:伊藤安浩)															
10	問題解決学習, オープン学習, 総合的な学習(担当:伊藤安浩)															
11	主体的・対話的で深い学びを意識した学習指導案の作成と模擬授業(担当:伊藤安浩)															
12	学校教育におけるICT利用(担当:市原靖士)															
13	電子黒板とタブレット端末による指導方法(担当:市原靖士)															
14	学習指導と評価~集団準拠評価, 目標準拠評価, 個人内評価~(担当:伊藤安浩)															
15	学習指導と評価~自己評価, 相互評価, 他者評価~(担当:伊藤安浩)															
ラ ッ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	随時, 小グループでの意見交換と活動の場を設ける。				工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	講義の内容や関連する事柄について, 文献やインターネット等を利用して, 調べ学習をする。(20h)														
	事後学修	ノートを読み直したりするなどして, 講義の内容を確実に定着させる。(25h)														
教科書	使用しない。															
参考書	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年3月告示)」東洋館, 平成30年															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	期末試験	90%														
	適宜行う小テスト	10%														
注意事項	よく理解できないところがある場合には, ためらわずに質問すること。個別的な質問にはオフィスアワーでも対応するが, 講義中または講義終了後の教室での質問を歓迎する。															
備考																
リンク	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	市原靖士（滋賀県中学校教諭）
実務経験を いかした教 育内容	学校現場に即したICT利用について講義する。